

調印式あいさつ

行田市長 横田 昭夫（合併協議会長）

本日は、上田埼玉県知事をはじめ、国会議員や県議会議員の先生方、また、両市村議会をはじめとする関係者の皆様には、公私ともにご多忙の中、行田市並びに南河原村の合併協定調印式にご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。

行田市並びに南河原村は、昨年８月に合併協議会を設置して以来、計７回の協議会を開催し、合併協定項目や新市建設計画に関し、協議を重ねてまいりました。

特に、南河原村の議員の皆様には、在任特例を一切使わない思い切った決断をしていただき、本市との合併に対する強い意志を感じたところでございます。お蔭様により、皆様の良識あるご判断のもとに、すべての協定項目についてご承認いただき、本日、合併協定書の調印式を迎えることができました。

この間、協議会の委員の皆様には、両市村の将来を見据えた、たいへん活発なるご協議を賜りましたことに、心から厚く御礼申し上げます。

ご存知のとおり、行田市は「埼玉古墳群」に見られるように、古代から豊かな文化が花開いた地であり、埼玉県名の発祥の地であります。

そして、現在は「水と緑 個性あふれる文化都市」を将来目標として、私が市民の皆様にお約束した「６つの安心プラン」に基づき、教育や福祉の充実、また、産業や観光の振興に力を入れたまちづくりを進めております。

一方の南河原村は、明治２２年の村制施行以来、地域の伝統と文化を大切に受け継ぎ、米・麦を中心とした農業や全国一を誇ったスリッパ産業を中心に産業の振興に努められるとともに、交通死亡事故ゼロの取り組みに見られるように、村民の皆さんが強い一体感を持って、安全で住みやすい村づくりを進めてこられました。

このような両市村は、地理的にも、また、歴史的な経緯を見ましても、たいへん強い結びつきを有するとともに、日常の生活圏や各種の行政単位も一体であり、今回の合併協定書の調印は、住民の皆様の積年の思いが結実した大きな成果であるといえます。

この合併により、行財政改革の実施や住民サービスの一層の向上を図ることはもとより、住民の皆様との協働のもとに、誰もが住んでよかったといえるまちづくり、また、将来への夢と希望を語ることのできるまちづくりを進めてまいりたいと存じます。

そして、豊かな自然と歴史資産に恵まれた地域の独自性を発揮し、埼玉県の中でもきらりと光を放つ魅力的な市にしていきたいと思います。

最後になりますが、この間、合併重点支援地域に指定していただき、多方面にわたりご支援をいただきました埼玉県の関係各位、また、それぞれのお立場からご指導いただいた関係の皆様、そして、熱心にご協議いただきました協議会の委員の皆様を重ねて御礼申し上げます、調印式に際しましてのあいさつとさせていただきます。